

移転先候補施設 諸室の面積・レイアウト検討案

令和4年3月

しょうけい館

1 移転先候補施設の概要

- 現状、移転先物件は未定であるが、地下鉄九段下駅から徒歩圏内に候補となる物件が存在する。当該候補物件は現有施設より延床面積が狭いため、移転先施設として適切かどうかを判断するために、現有施設の機能を維持確保するためにはどの程度の面積が必要かを検証した。
- 移転先候補物件の概要
 - 立地：地下鉄九段下駅 徒歩圏内
 - 建物種別：オフィステナントビル
 - 利用階層：2階層
 - 延床面積：約700㎡

3 諸室の面積検証

- 企画展示室は、コレクション展示室の増床と併せ75%の面積を確保も、企画展示スペースは可能な限り確保したい。
- 多目的プレゼンテーション（現映像シアター）は若干縮小するも中学校2クラス収容を維持。
- 図書閲覧室は、閉架書庫を隣接させ同程度の面積を確保
- 収蔵庫（約100㎡）は同一施設内に確保することが難しいため、外部収蔵庫に現有施設内収蔵庫の機能を移す。（現状の外部収蔵庫賃貸面積は約16.5㎡、現施設内収蔵庫の面積約100㎡を加えた移転後の外部収蔵庫賃貸面積は116.5㎡）
- 受付・ロビーは面積縮小も、一部機能を多目的シアター（団体見学オリエン説明）や図書閲覧室（アンケート記入デスク等）に移行し運用。
- 検証の結果、現有施設（約1,000㎡）の機能を確保するには現状の約8割程度の延床面積が必要となると考えられる。従って、今回の移転先候補施設（延床面積約700㎡）では、収蔵庫（約100㎡）を外部施設（外部収蔵倉庫）に移すことにより諸室機能を確保することが可能と判断した。
- 面積がこれ以降縮小される場合は、施設機能や展示方法の変更検討が求められる。

2 常設展示室の面積検討

- 常設展示室を構成する展示陳列部分、ジオラマ、通路などに細かく区分し、現有機能を維持確保したうえで、どの程度面積が削減可能かを検討した。

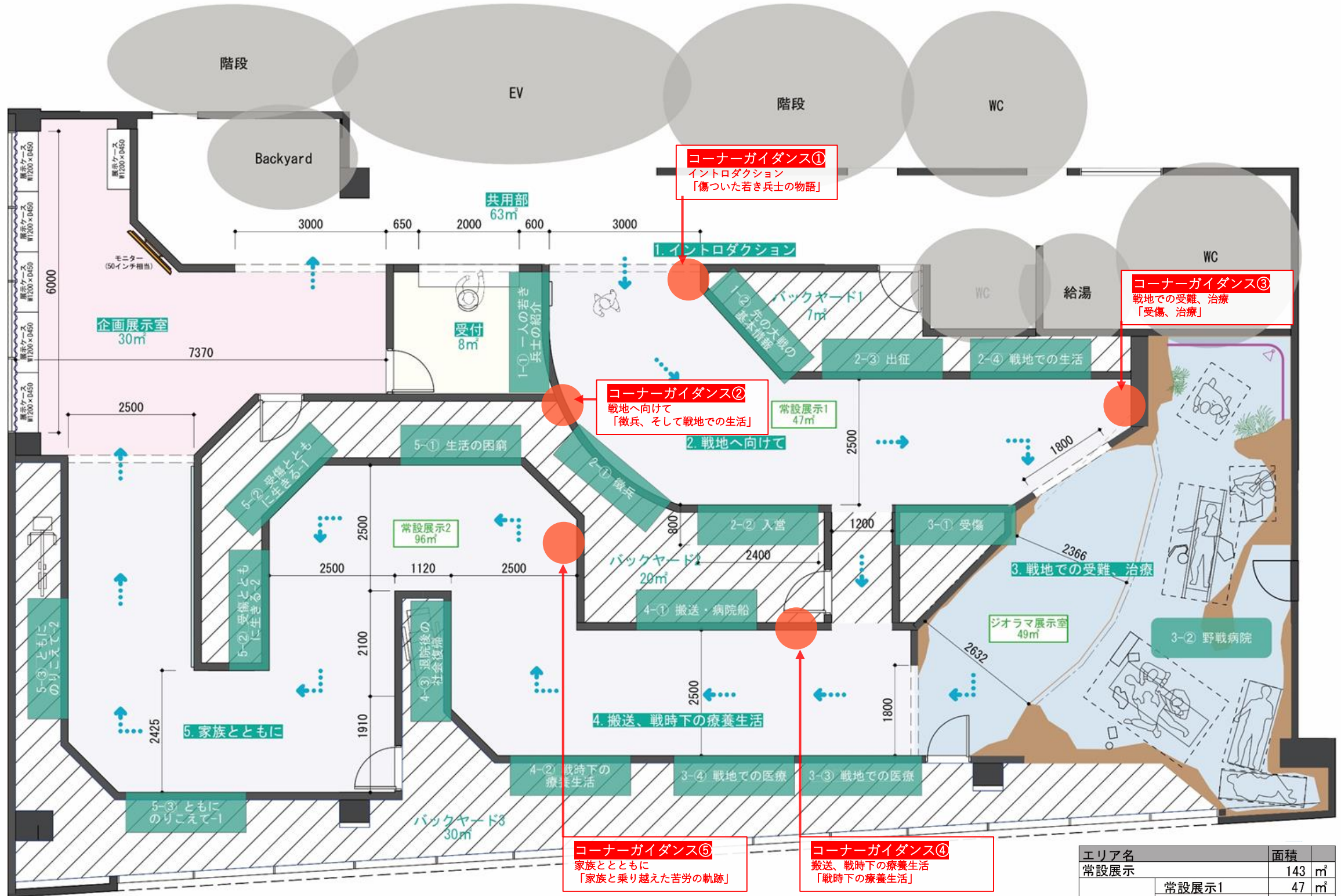
施設名称		現施設面積	検討面積
◇延床面積（常設展示+ジオラマ）		253㎡	192㎡
常設展示		178㎡	143㎡
	展示陳列部分	34㎡	34㎡
	通路部分	144㎡	109㎡
ジオラマ		75㎡	49㎡
	ジオラマ内通路	20㎡	16㎡
	演出面積(人形等配置スペース)	55㎡	33㎡

- 上記検討から、常設展示室の延床面積を現状の75%程度に減少したとしても、展示陳列面積はほぼ現状面積を確保でき、通路面積の削減で対応できることが検証できた。
- 展示室内の通路は現状の7割程度としても、法規上（消防法等）の問題なく、想定来場者数を収容するに運営上の問題がないと判断される。

施設名称		現施設面積	検討面積
展示施設		347㎡	244㎡
	常設展示室	253㎡	192㎡
	1階常設展示	23㎡	—
	企画展示室	71㎡	30㎡
	コレクション展示室	—	22㎡
情報施設		233㎡	134㎡
	多目的プレゼンテーション (現映像シアター)	63㎡	52㎡
	図書閲覧室	46㎡	54㎡
	閉架書庫・資料室	24㎡	28㎡
	収蔵庫(内部)	100㎡	—
その他施設		250㎡	192㎡
	受付・ロビー（2階層）	69㎡	34㎡
	事務室	98㎡	95㎡
	バックヤード・倉庫	83㎡	63㎡
共有部(トイレ、エレベーター、給湯室、通路)		156㎡	130㎡
◇延床面積		986㎡	700㎡
外部施設			
	収蔵庫	16.5㎡	116.5㎡
◇総面積		1,002.5㎡	816.5㎡



エリア名	面積
事務所	95 m ²
図書閲覧室	54 m ²
多目的プレゼンテーション	52 m ²
閉架書庫・一時収蔵庫＋登録作業室	28 m ²
受付・メインロビー	26 m ²
コレクション展示	22 m ²
バックヤード	6 m ²
共用部	67 m ²
合計	350 m ²



エリア名	面積
常設展示	143 ㎡
常設展示1	47 ㎡
常設展示2	96 ㎡
ジオラマ展示室	49 ㎡
企画展示室	30 ㎡
バックヤード	57 ㎡
バックヤード1	7 ㎡
バックヤード2	20 ㎡
バックヤード3	30 ㎡
受付	8 ㎡
共用部	63 ㎡
合計	350 ㎡

